

ビックキャブレター KIT ケーヒン PC Φ 20 (当社製 STD シリンダーヘッド用) (STD: スタンダードの略)		
商品コード	110-1118516	
適合車種	ジョルカブ AF53 全車種	
備考	○インテークポート径φ 22 ~ 対応 ○フロアーカバーの加工無しで装着できます。 ※ノーマルエアークリーナーの装着は出来ません。φ 34、φ 35 パワーフィルターワープタイプが使用できます。 (UNI フィルター、スーパーパワーフィルター等のストレートタイプは使用不可)	

この度はキタコ製品をお買い求め頂き誠に有り難うございます。説明文を良く理解して正しい取付を行って下さい。

■製品、装着についての注意 (必ずお読み下さい)

- このパーツは車両の吸気効率を向上させ、出力の増大や燃費の向上等、車両本来の性能を引き出すパーツですが、装着することにより、必ず車両の性能に見合ったセッティングが必要です。セッティングが出ないまま走行しますと、性能低下や焼き付き、故障の原因にもなりますので、十分注意して下さい。
- このキャブレターはチューニング内容にもよりますが、排気量を拡大した車両に装着することを前提に開発されています。ノーマルの排気量に装着してもセッティングが出ない場合があります。
- このパーツはレース専用です。組み込んだ車両での一般公道走行はできません。また、クレーム等も一切引きませんので、御理解頂いた上での使用をお願い致します。
- このキャブレターの使用後は性能維持の為、必ず分解整備を行って下さい。
- 組み付け不良やセッティングミスによるキャブレター及び、エンジンその他関連パーツの破損やそれに伴う事故等については全て本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんのでご了承下さい。
- 取付説明書の手順通りに正しい取付をして下さい。又、記載されていない追加加工はしないで下さい。破損、事故の原因にもなります。
- 組み付け及び、セッティング作業は必ず整備士資格のある方が行って下さい。また周辺部品の役割等が理解できない方は必ず、専門店の担当者又は、当社までご相談下さい。
- 取付の際、必ず車種ごとのメーカーサービスマニュアルと合わせて取付作業を進めて下さい。
- エンジンの振動により、ボルト、ナット類が緩む可能性があります。走行前は必ず、各部のボルト、ナット類の締め具合を確認して下さい。
- セッティングには必ずメーカー純正品を使用して下さい。(メインジェット、パイロットジェット等)

当用紙はオートバイ整備の基本的な知識を持った方を対象にしています。技能や知識をお持ちにならない方は作業を行わないで下さい。	火気厳禁 作業中は引火性の非常に高いガソリンを使用しますので、タバコ等は厳禁です。	十分な換気をして下さい。作業中は揮発性の高いガソリンを使用します。長時間閉められた室内で作業をしますと身体に有害です。	エンジン作動中、作動後はシリンダーやクランクケース、エキパイ等が大変高温になっていますので、不用意にふれてはいけません。
お気付きの点や、異常を発見した場合は直ちに走行を停止して、当社までご連絡下さい。			

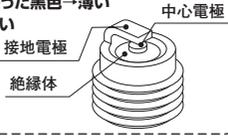
■キャブレターについて (この項ではキャブレター装着時のセッティング方法を記載しています)

●**キャブレターのセッティングとは**
キャブレターはガソリンと空気を混ぜて、混合気を造る箇所です。ガソリンと空気の混ざり具合を「混合比」と言います。混合比は基本的に薄い、ちょうど良い、濃いに3つに分類されます。キャブレターセッティングとはアクセル全開から全開まで「ちょうど良い」混合比を目指す事にあります。ちょうど良い混合比を確認するには「運転者本人のフィーリング」と「スパークプラグの焼け具合」で確認します。

※ベストセッティングはエンジンの仕様、気温、気圧、湿度により千差万別です。必ずとも正解が一つな訳ではありません。例えばセッティングを出しても、マフラーを交換しただけでセッティングが狂ったり、朝と夜、標高差、季節、天気によってもセッティングが狂ってしまうケースもあります。

本格的なキャブレターセッティングは慣らし運転終了後に行ってください。(セッティング作業はアクセル全開で行ったりします。慣らしが完了するまで仮セッティングで走行して下さい) 本格的なセッティング作業は十分エンジンを暖機させた後、アクセル開け始めから全開まで、様々なアクセル開度で一通り走行して下さい。走行時のフィーリングやスパークプラグの焼け具合を確認してセッティングして行きます。

キャブレターのベストセッティングとはプラグの焼け具合と走行フィーリングによって、確認します。
スパークプラグの焼け具合は電極部分の焼け色で確認します。
全体的に黒い、湿っている→濃い
全体的に白い、電極が青みがかった黒色→薄い
全体的にキツネ色→ちょうど良い



図記号	パーツ名	品番	個数
1	キャブレター本体	401-2014506	× 1
2	スロットルケーブル	905-1118006	× 1
3	チョークケーブル	905-1118900	× 1
4	ホース	905-0060100	× 1
5	ホースバンド	995-0500010	× 1
-	マニホールド SET	410-1118516	× 1
6	6 × 20 キャップボルト	060-0500020	× 2
7	マニホールド本体	100-1118306	× 1
8	マニホールドパッキン	950-1015000	× 1
9	インシュレーター	999-1086000	× 1
10	インシュレーターパッキン	955-1086000	× 1

取付手順

- ▲この取付説明書はボアアップ KIT 装着車に取り付けることを前提に制作しています。
1. 作業がしやすよう下記の外装パーツを取り外します。
○フロアパネルはまずシフトペダルを取り外して、ボルト 4 本とビス 1 本を外し、爪を外して、取り外します。
○フロントカバーをビス 3 本外して、取り外します。
○レグシールドビス 1 本を外して、フックと共に取り外します。
○アッパーハンドルカバーはヘッドライト及び、左右のウインカーの取付ビス各 1 本とカバー下側にビス 4 本を外して、ヘッドライト、ウインカー及び、アッパーハンドルカバーを取り外します。
2. スロットルハウジングのビス 2 本外して、ノーマルスロットルケーブルを外し、チョークレバーからノーマルチョークケーブルを取り外します。
3. ノーマルキャブレターにつながるフェイェルホースとノーマルマニホールドにつながっている負圧ホースを取り外します。ガソリンが多少でてきますので、受け皿等で受けて下さい。
4. ノーマルキャブレターとエアクリナーケースの接続部にあるクランプのビスをゆるめ、エアクリナー取付ボルト 2 本とクランクケースとつながっているプリーザーホースを外して、ノーマルエアクリナーを取り外します。
※このキャブレターにはノーマルエアクリナーボックスは使用できません。
5. キャブレターのドレンスクリューを緩めて、キャブレター内に溜まっているガソリンを全て抜き、エンジン側のマニホールドの取付ボルトを外して、マニホールド、マニホールドパッキン及び、ノーマルキャブレター ASSY を取り外します。
※ガソリン抜く際、ガソリンが流出しますので、受け皿等で受けて下さい。
6. 付属のスロットルケーブルとチョークケーブルをそれぞれスロットルハウジングとチョークレバーにセットし、ノーマルケーブルと同経路でキャブレター側まで取り回します。
7. スロットルケーブルをキャブレターにセットし、付属のマニホールドパッキン、マニホールド、インシュレーター、インシュレーターパッキン、キャブレターを付属のボルト及び、ノーマルボルトで図の様に取付けます。
※取付後、スロットルを全開、全閉と繰り返して、スムーズにスロットルバルブが動作するか、良く確認して下さい。同時にチョークレバーの作動具合も確認して下さい。
8. ノーマルフェイェルホースと負圧ホースをそれぞれキャブレターとマニホールドに組み付けます。
9. 付属のプリーザーホースを付属のバンドでクランクケースに組み付けます。プリーザーホースは走行に支障がないように車体後方まで取り回します。
10. エンジンをかけて、正常に吹け上がるか確認して下さい。
※このキャブレターは予め標準セッティングがされていますが、チューニング度合いによって基準値が異なりますので、別紙のセッティングマニュアルを参考にベストセッティングを施して下さい。
11. 外装パーツを元通り組み付けて作業終了です。

- 基本セッティングについて
- ◆このキャブレターには下記の基本セッティングがなされています。セッティングを調整する場合は別紙のマニュアルを参考にして下さい。また、下記のセッティングパーツは当社にて取り扱っています。

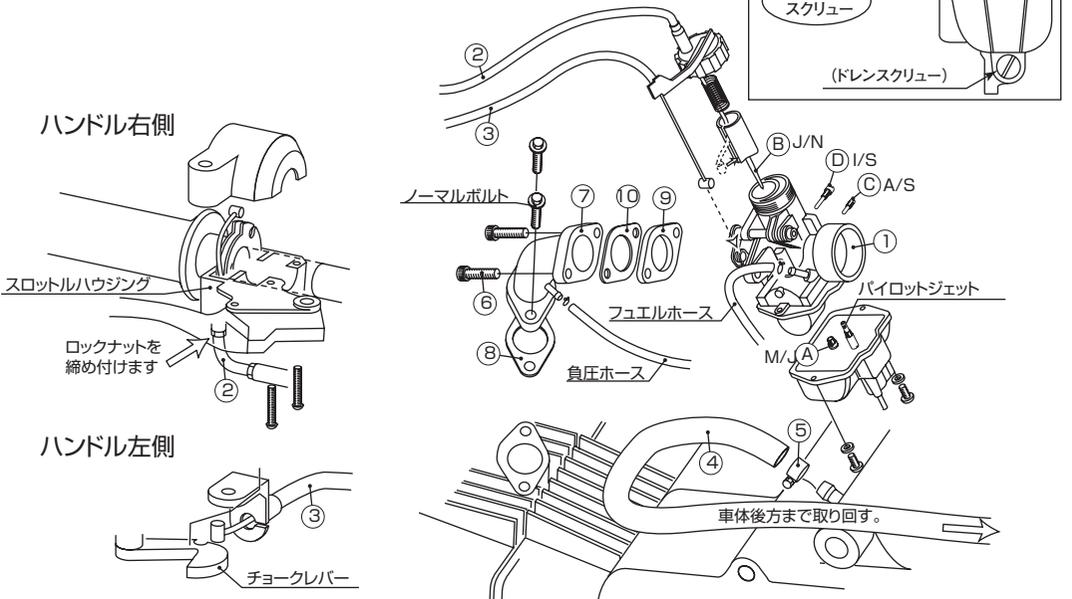
A. メインジェット
ケイヒン丸形・小

B. パイロットジェット
#35 (組込済)

C. ジェットニードル

D. エアースクリュー
左回し (薄くなる) 右回し (濃くなる)
※全開から1回転半戻しが標準です。

E. アイドルスクリュー
左回し (下がる) 右回し (上がる)



■製品の保証について

- 製造には万全を期しておりますが、万一当社の製造上の原因による品質不良がありました場合は、同様、同数の新しい製品とお取り替え又は、無償修理致します。但しそれ以外の故障、破損、事故等についてのパーツの代金、修理保証、整備費用等の代償はご容赦下さい。
- 当社製品の保証期間は商品購入後から 6 ヶ月です。

211124

〒 577-0015

東大阪市長田 3-8-13

TEL.06-6783-5311 (代)

FAX.06-6782-0740

